

整理番号 2018M-021
補助事業名 平成30年度 ISO情報技術標準化推進 補助事業
補助事業者名 (一社) ビジネス機械・情報システム産業協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

ビジネス機械・情報システム分野における国際標準の中に日本の先進的技術を導入し、国益の向上に努めると共に、日本の国益に反する国際標準の策定を阻止するため、ISO国際会議へ委員の派遣を行い、ビジネス機械・情報システム産業の国際競争力強化に寄与する。

具体的には①カード及び個人識別用セキュリティデバイス、②オフィス機器、③ユーザインタフェースの3つの分野でそれぞれの課題解決に向けた活動を行う。

①では現代社会ですでに不可欠なICカードについて、技術の向上に伴って新たな使用方法が提案されている。これら新しい使用方法についてはまだ標準化が進んでいない。

②では複写機、ファックス、プリンタ、プロジェクタ等の選択にあたってその性能や操作性などについて客観的に比較できるように標準化を進めている。エンドユーザの利便性の視点から、まだ標準化すべきところがある。

③では操作性について標準化が出来ていない部分があり、ユーザの利便性が損なわれている。これらの課題に対して国際標準化を推進することで、セキュリティデバイスやオフィス機器の性能や操作性の比較がし易い環境の構築や、互換性を高める必要がある。

(2) 実施内容

活動報告 (<http://iso.jbmia.or.jp> 抜粋版 5/16承認、6月上旬掲載予定)

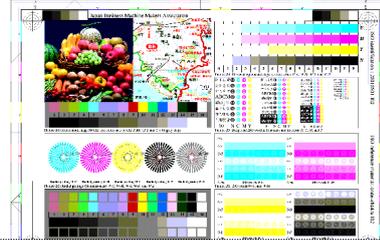
上記目的達成のため、SC17, SC28およびSC35国内委員会においては、各々、国益にそった意見集約を行い、国内委員をISO国際会議に派遣し、その結果を活動報告書にとりまとめた。

SC17, SC28およびSC35関係の国際会議が計18回開催され、当協会よりこれら全ての会議に委員を派遣した。また3つの委員会では併せて130件の標準化案件をそれぞれの委員会およびワーキンググループで審議し漏れなく投票した。その結果、SC17分野では17件、SC28分野で3件、SC35分野で3件の国際標準を発行するに至った。

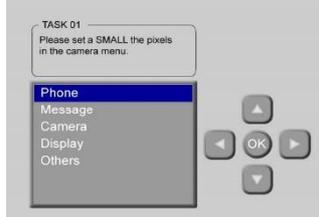
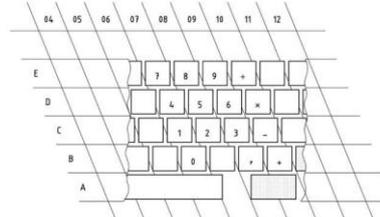
SC17

		
キャプション: 岡山国際会議風景	キャプション: 凸記号付カード	キャプション: 耐摩耗性試験結果

SC28

		
<p>キャプション: 珠海総会</p>	<p>キャプション: 珠海 WG</p>	<p>キャプション: カラーテストチャート No.2</p>

SC35

		
<p>キャプション: SC35 ダブリン会議風景</p>	<p>キャプション: 十字キー</p>	<p>キャプション: キーボード配列</p>

2 予想される事業実施効果

①のカード及び個人識別用セキュリティデバイスを担当するSC17は、各種カードの要素技術からクレジット・IC旅券・運転免許証等の利用システムまでを含む国際互換性に関する標準化と登録管理を担当している。

元々電源を必要としないICカードにおいて、読み取り装置側の消費電力を減らすエコ活動や、ICカード単体でもチャージ金額などの変化する内容が確認できるディスプレイ機能付きICカードへの展開によるユーザの利便性向上が期待される。

②のオフィス機器を担当するSC28は日本のメーカーが世界市場の中で多数派を占めており、日本が議長国として、国際幹事業務を引き受け積極的に活動している。現在、ワーキンググループは5つ（戦略検討、消耗品、生産性、画質評価、オフィスカラー）あり、日本はいずれのワーキンググループにも参加している。近年、オフィス機器とネットワークで繋がる他のシステムやデバイスとの標準化の必要性が顕著になって来ている。主要なハードウェアメーカーが存在する日本は、環境やアクセシビリティなどの分野で国際社会の要求に的確に応える標準化を進めることで、日本の国力を強化していく。

③のユーザインタフェースを担当するSC35では、幹事国および議長国はフランスが務めている。7つのワーキンググループのうち2つのWGで日本はコンビーナ（主査）を務めている。日本が主体となって進めている事務機器用図記号の標準化については、日本メーカーの主導の下に規格化を進めユーザの利便性を高めていく。また最近始まったボイスコマンドや聴覚障害

の方を対象とした字幕など、さらに様々なユーザの利便性を向上するための規格化を進めていく。ジェスチャーインタフェースについても、韓国提案のプロジェクトであるが、共同エディタを務めることで積極的に関与し、日本の国力増強に寄与する。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

ISO/IEC 7811-1, ISO/IEC 7811-2, ISO/IEC 7811-6, ISO/IEC 7811-7, ISO/IEC 7816-4-1, ISO/IEC 7816-4-2, ISO/IEC 7816-15-1, ISO/IEC 10373-3, ISO/IEC 10373-6-3, ISO/IEC 14443-1, ISO/IEC 14443-3, ISO/IEC 14443-4, ISO/IEC 15693, ISO/IEC 18013-1, ISO/IEC 18328, ISO/IEC 18745, ISO/IEC 24787, ISO/IEC 28360-1, ISO/IEC 28360-2, ISO/IEC 29112, ISO/IEC 20071-23, ISO/IEC 24752-8, ISO/IEC 29138-1

これらはISOおよびIECの著作物となるので、入手するためには以下のURLから購入する必要がある。

(ISOサイト)

http://www.iso.org/iso/home/store.htm?utm_source=isoorg&utm_medium=button&utm_term=homepage&utm_campaign=homepage+store+button

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 (ビジネスキカイ・ジョウハウシステムサンギョウキョウカイ)

住所： 〒108-0073

東京都港区三田3-4-10 リーラヒジリザカ 7階

代表者： 会長 山下 良則 (ヤマシタ ヨシノリ)

担当部署： 標準部 (ヒョウジュンブ)

担当者名： 担当部長 坂本 竜太郎 (サカモト リュウタロウ)

電話番号： 03-6809-5010

F A X： 03-3451-1770

E-mail： sakamoto.ryutaro@jbmia.or.jp

U R L： <http://www.jbmia.or.jp/index.php>